



北星学園大学大学院の教育理念・ポリシー

建学の精神

北星学園大学では、従来、教育目標として、「人間性・社会性・国際性」の育成を掲げてきました。そして2004年度からは、それを十分に活かしつつ、キリスト教を基に創設された北星学園に属す大学として、建学の精神を高等教育によりふさわしい形で展開するために、基本理念を以下のように決めました。

本学は、プロテスタンティズムを建学の精神とする北星学園に属す。北星学園大学の基本は知的誠実である。それは、神の前で自己や自国を相対化し、謙虚に学びつづける姿勢である。

「神を畏れることは知識の初めである」(旧約聖書:箴言1章7節)。

自他の人格の尊厳を知り、人間を何かの手段と見ないキリスト教的価値観が、本学の営みの根底に潜む。見識を備え責任を自覚し、社会に貢献する独立人を養成することが、本学の目標である。それは、抑圧や偏見から解放された広い学問的視野のもとに、異質なものを重んじ、内外のあらゆる人を隣人と見る開かれた人間である。そういう意味での自由を本学は目指している。

「真理はあなたがたに自由を得させるであろう」(新約聖書:ヨハネによる福音書8章32節)。

本学は、開学以来、地域・社会・世界に開かれた大学を目標としているのである。

しなやかな精神的骨格を持った、個性ある大学として、時流や利害に流されない独立した人格を学生のうちに育てたいという願いが、この文言には強く込められているのです。

社会福祉学研究科のポリシー

社会福祉学研究科 修士課程 ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)

1. 広い視野に立って社会福祉学と臨床心理学の分野における高度な専門的学識を有している。
2. 研究能力とともに、高度な専門性を要する職業人に必要な知識と実践能力を有している。

社会福祉学研究科 修士課程 カリキュラム・ポリシー (教育課程編成方針)

〔社会福祉学専攻〕

社会福祉サービスの体系は、コミュニティを基盤とする実践を中核にししながら、施設・機関を中心にしたミクロ実践および社会全体の福祉資源配分を対象にした福祉計画までを視野に入れた幅広いものです。

社会福祉学専攻修士課程においては、これらの包括的な社会福祉実践および分野別の専門性を高める教育・訓練をするために、幅広い科目群を用意しています。加えて、社会福祉研究の第一線で活躍するために、また、社会福祉現場のリーダー、スーパーバイザーにとって必要な分析能力を高めるために必要な研究方法や関連領域の科目群を配置しています。

1. 基本科目、分野別研究、研究方法、関連領域、論文の5科目群を配置し、修士論文を修了要件としています。
2. それぞれの院生の関心領域の研究を追究できるように、子ども家庭福祉研究、障害児・者福祉研究、発達障害研究、精神保健ソーシャルワーク研究、高齢者・高齢社会福祉研究、医療福祉実践研究、地域福祉研究、公的扶助研究の分野別の授業科目を配置し、選択的な履修を可能にしています。
3. 専門的な調査力や分析力を高められるように、質的調査研究、量的調査研究、国際比較福祉研究、

ソーシャルワーク実践研究、海外福祉実践研究など幅広い視野から研究方法を身につけられるように配慮しています。

4. 社会福祉研究を狭い福祉サービスの提供に限定せず、広く実的な視野を持って学びを深められるように、社会保障財政研究、社会保障法研究、特別支援教育研究、社会的弱者研究、偏見・差別問題研究、コミュニティケア政策研究、精神障害学研究の関連領域の科目を配置しています。
5. 1年次後期から論文指導をはじめ、質の高い修士論文の作成にじっくりと取り組めるようにしています。

〔臨床心理学専攻〕

臨床心理学専攻は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会から臨床心理士養成指定大学院の認定を受けており、臨床心理の専門家を養成することを主要な目的としています。そのために2年間にわたる実習が、カリキュラムの重要な柱になっています。加えて、研究法をはじめとする幅広い科目とともに、指導教員による演習を中心とした実践的な指導を受けることができます。

1. 臨床心理士養成大学院として、演習科目群、実習科目群及び臨床心理学特論Ⅰ・Ⅱ、臨床心理面接特論Ⅰ・Ⅱで、高度に専門的な臨床心理学的な援助技術を習得できる科目を必修としています。
2. 臨床心理士関係選択科目として、特殊研究科目群、研究法科目群を配置し、臨床心理学または隣接領域に関連する分野について研究することができます。
3. 研究科目群と特殊演習科目群では、自身の研究課題に合わせた教授から論文執筆に向けた指導を受けることができます。
4. 実習科目では、クライアントに具体的にどのように心理検査や面接を実施し、適切な援助法を見出すかを、実習体験を通して学ぶことができます。

社会福祉学研究科 博士〔後期〕課程 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

1. 社会福祉学に関する高度な知見を有するのみならず、臨床心理学等の隣接領域の学際的な知見を持ち、研究課題を多面的かつ学際的に研究できる能力を有する。
2. 福祉・保健・医療などの分野で職業人として、また教育や学会などを通じて、研究成果を広く社会に還元できる能力を有する。

社会福祉学研究科 博士〔後期〕課程 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

研究テーマに応じて博士論文作成に至るまできめ細かい指導を受けることができます。指導教授は研究する上で必要な論文・資料・文献の読解・レビューおよび論理的な考察能力を高めることができるように、学会や研究会等における発表指導を通じてプレゼンテーション能力開発の支援をおこないます。

1. 特殊研究科目では、社会福祉諸領域に関する国内外の資料・文献についての研究指導を行い、特に海外の論文・資料・文献の解読、講読指導を重視し、海外文献の読解力を身につける。
2. 演習科目では、学会や研究会などにおける発表指導を通じてプレゼンテーション能力を身につける。

文学研究科のポリシー

文学研究科 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

1. 英語圏の言語文化、英語教育、コミュニケーションについて、社会状況の変化を踏まえた高度な専門性と広範な学際的な見識を有している。
2. 異なった文化を理解するという言語習得の本来の目的を見据えた幅広い視野と国際的な視野を有している。
3. 言語使用の根本にあるコミュニケーションという人間の営為の基本にまで至る理解を有している。

文学研究科 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

教育課程は、「言語文化研究」「英語教育・コミュニケーション研究」「人間関係論研究」の3分野で構成されています。

1. 言語文化研究分野では、英米の文化と文学に関する言語テキストをてがかりに、その背後に広がる英米文化の深層を理解するとともに、他の英語圏の文化と文学および、西洋文明の根底にあるキリスト教文化についての理解を深めることができます。
2. 英語教育・コミュニケーション研究分野では、言語および非言語メッセージの発信と受信をてがかりに、「言語学」「コミュニケーション学」「英語教育学」の3つの領域から、人々のおりなす相互作用の諸側面について多角的に理解することができます。
3. 人間関係論研究分野では、教育学や心理学といった関連する分野の授業をとおして、言語文化研究分野と英語教育・コミュニケーション研究分野での高度な専門的研究をより豊かで深みのあるものにするすることができます。

経済学研究科のポリシー

経済学研究科 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

1. 経済現象あるいは企業経営の本質を様々な角度から分析できる高度な研究能力と実践的能力を有している。
2. 経済学の領域においては、経済現象を理論的・歴史的・統計的手法を用いて分析できる専門的知識と実践的能力を有している。
3. 企業経営の領域においては、企業組織や経営組織・戦略、マーケティング、あるいは会計や金融の専門的知識を身に付け、グローバル化に伴う経営問題を解決できる実践的な能力を有している。

経済学研究科 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

教育課程は、理論経済・応用経済・政治経済などの経済学に関する領域、企業経営に関わる経営組織・戦略、マーケティング、会計などの経営学に関する領域があります。探究テーマに応じてメインとなる科目、関連する科目を選択し、次のように専門性を重層的に深めることができます。

1. 経済現象あるいは企業経営の本質を様々な角度から分析できる高度な研究能力と実践的能力を養成します。
2. 経済学の領域においては、経済現象を理論的・歴史的に解明する専門的な知識を身に付けるばかりではなく、統計的手法に基づく政策提言のできる実践的な能力を養成します。
3. 企業経営の領域においては、企業組織や経営組織・戦略、マーケティング、あるいは会計や金融の専門的知識を身に付け、グローバル化に伴う経営問題を解決できる実践的な能力を養成します。



授業科目の履修について

授業

授業時間

講時	時間
I 講目	8:50~10:20
II 講目	10:30~12:00
<礼拝>	12:10~12:30
III 講目	13:00~14:30
IV 講目	14:40~16:10
V 講目	16:20~17:50
VI 講目	18:00~19:30
VII 講目	19:40~21:10

※ 授業の展開は、前期、後期、通年及び集中で行われます。

単位・成績評価

単位数は大学院学則第20条の算定基準に基づき計算しています。

学業成績は授業科目ごとに次の基準で評価されます。

合格：A+、A、B+、B、C、D

不合格：F及び未受験等または無資格

※「未受験等」…評価は不合格であるが試験を欠席またはレポートを提出していない場合

「無資格」…評価は不合格であるが欠席講数が規定授業講数（15講または30講）の1/3を超えており受験資格無しという場合

なお、成績証明書の記載は、合格した科目のみとなります。成績は「履修登録 Web」で確認してください。

成績の閲覧方法

ブラウザを立ち上げて「北星学園大学総合情報センター」のホームページを表示→「履修登録はこちら」をクリック→「履修登録 Web」にログイン→「成績表」画面から確認することができます。

履修登録

(1) 履修登録期間:2017年4月7日(金)~13日(木)

※ この期間内に履修登録を行わない場合は、除籍対象となります。

(2) 後期科目の履修登録追加期間

2017年9月25日(月)~28日(木)に後期科目の履修計画を変更することができます。後期科目履修登録修正期間に教育支援課で手続きをしてください。詳細は掲示で連絡します。

履修登録方法

ブラウザを立ち上げて「北星学園大学総合情報センター」のホームページを表示→「履修登録はこちら」をクリック→「履修登録 Web」にログイン→「履修登録」画面から登録することができます。詳細については「履修登録 Web」画面上の「Web 履修マニュアル」を参照してください。

講義要項（シラバス）

履修にあたっては講義要項を熟読し、講義のねらいや授業の流れ、教科書、成績評価方法、注意事項等をよく理解した上で授業に臨んでください。講義要項（シラバス）はインターネットで閲覧できます。

(1) 講義要項の閲覧方法

- a. ブラウザを立ち上げて「北星学園大学総合情報センター」のホームページを表示→「履修登録はこちら」をクリック→「履修登録 Web」にログイン→「履修登録」画面でシラバス表示ボタンをクリックする。
- b. ブラウザを立ち上げて「北星学園大学・短期大学部」のホームページを表示→「在学生のためのキャンパスナビ CAMPUS GUIDE WEB」をクリック→「シラバス」をクリックする。
- c. ブラウザを立ち上げて、アドレス欄に直接以下のアドレスを「英数半角」で入力する。
<http://www2.hokusei.ac.jp/syllabus/>

(2) 講義要項の検索方法

検索タイプ「科目名から探す」「履修科目コードから探す」「学部・学科から探す」「担当教員から探す」「フリーワードから探す」の内から適切な方法を利用する。なお、「学部・学科から探す」は専攻からの検索となる。



大学院生の学生生活

大学院生への通知・連絡

大学院生に対する通知・連絡は、特別な場合を除き全て大学院の掲示板（第2研究棟1階入口）を通じて伝達します。登校の際は必ず目を通し、見落としのないように注意してください。

大学院生研究室・共同研究室の利用

- (1) 利用時間 8:40～22:00
※ 願い出により22:45まで延長可
- (2) 研究室は年度当初に割り当てます。研究室及び共同研究室の管理・清掃は、院生が行ってください。

コピー

共同研究室にコピー機を設置しています。
修士課程院生について、教材複写用に在籍期間中1,000枚を上限として補助します。

事務室窓口取扱時間

大学院生担当窓口は、A館1階教育支援課⑦番窓口です。

	午前	昼休み	午後
月～金	8:45～11:30	11:30～12:30	12:30～17:00

学籍異動

1. 休学・復学・退学・再入学
上記事由が生じた場合は、願出用紙に必要事項を記入の上、指導教員の面接を受けてから教育支援課へ提出してください。
 - A 休学
(1) 休学手続は、研究科長あての「休学願」に保証人連署の上、必要があれば事由を証明する書類（診断書等）を添えて提出し、研究科長の許可を受けなければならない。
(2) 休学期間の授業料は徴収せず、在学期間に算入しない。ただし学期途中から休学する場合は、授業料を徴収する。
(3) 休学期間満了前に、復学又は退学の願い出のない者は、休学期間満了によって除籍される。
 - B 復学
復学手続は、研究科長あての「復学願」に保証人連署の上、必要があれば事由を証明する書類（診断書等）を添えて提出し、研究科長の許可を受けなければならない。
 - C 退学
退学手続は、研究科長あての「退学願」に保証人連署の上、退学事由を詳細に記し、学生証を添えて提出し、学長の許可を受けなければならない。
 - D 再入学
退学した者が再入学を願い出たときは、学長はこれを許可することがある。

2. 除籍

A 除籍

大学院学則第14条第1号から第6号に該当するものは、研究科委員会の議を経て学長が除籍する。

B 除籍からの復学

除籍された者が復学を願い出たときは、学長はこれを許可することがある。

奨学金制度

奨学金の募集内容については、オリエンテーション期間中の〔大学院〕奨学金申込説明会でお知らせしますので、申込希望者は必ず出席してください。

募集する奨学金内容は、「Hokusei Campus Guide」の奨学金案内ページを参照してください。

学生教育研究災害傷害保険（学研災）・学研災付帯賠償責任保険（学研賠）

オリエンテーション資料に同封する「加入者のしおり」及び「Hokusei Campus Guide」の学研災・学研賠案内ページを参照してください。

自動車・自動二輪・原付通学の許可申請

大学院生の自動車等による通学は禁止しています。ただし、以下の1から3のいずれかに該当し、自動車等通学の必要がある場合に限り許可します。

1. 正規雇用である等生計を維持するための職業上の理由を持つ者
2. 開講科目の実習等の学習・研究活動上の理由を持つ者
3. 家族の介護、子の育児、通院等家庭や個人の理由を持つ者

申請希望者は申請書に必要書類を添付の上、教育支援課へ提出してください。

北星学園生協

営業時間

		購買（1F）	食堂（3F）
通常期	平日	8：30～18：30 ※	11：00～17：00
	土曜	休業（*）	休業（*）
閑散期	平日	9：30～14：00	11：00～13：30
	土曜	休業	休業

（注）詳細は北星学園生協ホームページでご確認ください。

※通常期 購買のみ8：30開店(全店開店9：30)、サービスカウンターは平日18：00まで

（*）授業振替日・統一補講日・キャンパス説明会のみ
購買9：30～13：30、食堂11：00～13：30で営業します。

大学院生の相談対応

大学院生の学籍事項及び修学事項や履修等に関することは、教育支援課教務係大学院担当、各研究科研究科長または副研究科長が相談に応じます。

副研究科長氏名		研究室	内線	メールアドレス
社会福祉学研究科	豊村 和真 副研究科長	1-608 研究室	内線 1608	toyomura
文学研究科	高橋 克依 副研究科長	1-514 研究室	内線 1514	kaz
経済学研究科	鈴木 克典 副研究科長	1-812 研究室	内線 1812	ksuzuki

※メールアドレスは、表のアルファベットの後に「@hokusei.ac.jp」をつけて送信してください。

図書館の利用

1. 開館時間

	通常	休暇中
月～金	8:45～22:00	8:45～20:00
土	8:45～20:00	8:45～20:00
日	12:00～17:00	休館

図書館入館には学生証が必要です。

休館日：国民の祝・休日、休暇中日曜、キリスト降誕祭（12/25）、年末年始等。

その他の臨時休館は、事前にホームページ、掲示等でお知らせします。

2. 貸出

- ・本館2階カウンターで手続きを行います。学生証とともに資料をお持ちください。
- ・休暇中は貸出期間に変更があります。
- ・資料によっては貸出できないもの、条件の違うものがあります。

	図書	雑誌
大学院生	20冊／1ヶ月	10冊／1週間

3. 返却

- ・返却期限日までに本館2階カウンターに返却してください。
- ・閉館時は、本館玄関横スロープ、本館1階階段横の返却ポストをご利用ください。
- ・返却期限が過ぎると1日につき3日間の貸出停止となります。

4. レファレンス

参考カウンターにて学習・研究の援助、文献複写・図書借用依頼等を受付けています。

平日	8:45～17:00
----	------------

時間外のお問合せはE-mail (sankoh@hokusei.ac.jp) をご利用ください。

文献複写・図書借用依頼については、図書館主催のガイダンス受講によりご利用いただけます。詳細については別途お知らせします。

図書館利用に関する詳細は、図書館ホームページ (<http://library.hokusei.ac.jp>) または「図書館利用案内」をご参照ください。



「北星学園大学大学院論集」の刊行について

北星学園大学大学院では、本学大学院学生及び本学大学院修了者の研究の成果を発表する「北星学園大学大学院論集」を年1回刊行しています。

刊行案内は本学ホームページで行っており（例年5月上旬に案内しています）、「北星学園大学大学院論集」刊行スケジュールは原則固定化しています。原稿登載を希望される方は、ホームページで詳細を確認し、期限までに登載希望を申し出てください。

「北星学園大学大学院論集」刊行スケジュール

登載希望受付	6月10日（土・日の場合は前金曜）締切
① 原稿提出	8月24日（土・日の場合は前金曜）締切
査読	9月1日～9月第4金曜
② 修正稿提出	10月15日（土・日の場合は前金曜）締切
再査読	10月16日～10月31日
③ 最終稿提出	11月15日（土・日の場合は前金曜）締切
原稿確認	11月16日～11月下旬
入稿	11月下旬
初校	1月上旬
再校	2月上旬
最終校了	2月下旬
納品	3月中旬
発行日	3月15日

- 提出原稿について

本学大学院学生は指導教員の、本学大学院修了者は第三者のコメントを受けて修正点検された原稿を原則とします。

- 原稿提出部数について

① 原稿提出時は3部、②修正稿提出時は3部、③最終稿提出時は1部印刷の上、提出すること。同時に外部記憶媒体に保存されたデータを提出すること。



大学院修了生等の研究活動支援について

北星学園大学大学院では修了後も研究活動を支援します。修了生、博士課程満期退学者については、修了後も総合情報センターのユーザーIDを利用することができます。総合情報センターのユーザーID利用により受けられるサービスは以下のとおりです。

1. 北星学園大学総合情報センターの情報処理システム及びネットワークの利用（メール利用、実習室PC利用等）
2. 北星学園大学図書館のマイライブラリの利用（ILLサービス、データベース学外アクセス等）など、本学大学院学生と同様の利用

利用条件・手続き等

1. 利用手続（ユーザーID承認）

- ① 利用希望申請（教育支援課宛）
 - ② ユーザーIDの発行（利用承認）⇒上記1の利用が可能
 - ③ 上記利用者のうち、図書館の研究活動支援制度を希望する者は、ユーザーIDの発行を受けたのち、別途申請（図書館宛）⇒上記2の利用が可能
- ※ 図書館利用には研究活動支援制度申請の他に学外登録が必要です

2. 利用期間

- ① 利用が承認された日からその日の属する年度末までとする
 - ② 継続利用を希望する場合（更新）は年度毎に上記手続を必要とする
- ※ ユーザーIDは年度ごとに変更となります（在籍時のIDとは異なります）

3. 研究活動報告

年度末に研究活動報告書を提出しなければならない

4. 利用の取消・停止

「総合情報センター情報処理システム利用規程」、「総合情報センターネットワーク利用規程」、「図書館利用規程」のいずれかに抵触する不正利用があった場合は、上記サービスの利用を全て停止する

5. その他

- ・情報処理システム利用料金は無料
- ・図書館ILLサービスは費用を徴収する場合がある
- ・研究生として在籍の場合は研究活動支援制度利用対象外とする
- ・大学院生研究室の利用は対象外とする